

整理番号：1－5

提言題名：若い世代を取り込むために子育て世代の意見を聞くことが必要

【提言の要旨】

取手市は守谷市や柏・松戸に比べて高齢の方が多く、若い世代が少ない印象です。今後の税収を増やすためにも、若い世代に取手の魅力を感じてもらい転入してもらうことは重要な課題であり、まずはこの世代の意見を広く聞いてみる必要があります。今年、子育て支援センターのLINEが新しく開設しました。子育て世帯への円滑な情報発信の手段としてLINEを活用するのはとても画期的で素晴らしいと思いました。せっかくなのでこの新しいシステムを活用し、子育て世代への市からのアンケートを行ってみるのはいかがでしょうか。市の「子育て世代へのアンケート特設ページ」のリンクを支援センターのLINEで発信する形で良いと思います。他県・他市から転入してきた方々もたくさんいらっしゃるでしょうから、「取手の良いところ・足りないところ」「他の自治体で良いと思った子育て支援」「他の子育て支援」「他の子育て世代の人に取手市を勧めたいか。より勧めたくなる市にするにはどのようなことが必要か」などの意見やアイデアを広く聞いてみるのです。もちろん全ての意見を反映することはできないでしょうが、まずは意見を聞き、できるところから取り入れようとする姿勢がより良い取手市の発展につながると思います。「市が子育て世代に目を向けて意見を聞いてくれている」ということがわかるだけでも取手市への親しみや好感度を感じてくれる人は多いのではないのでしょうか。コロナの影響でリモートワークが増加し、地方への転入が増えてきている今の働きかけがとても大切だと感じています。また、「ほどよく絶妙とりで」の投稿募集の案内も支援センターから紙媒体で配られました。これも、子育て支援センターLINEを活用したり、取手市の子育て情報専用のツイッター・インスタ等を作成して情報発信してもよいのではないかと思います。

(令和2年12月受付)

【回答の要旨】

子育て支援センター、及び公式LINEをご利用いただきましてありがとうございます。

いただいたご意見にあります若い世代や子育て世代の意見を広くお聞きすることについてですが、市が計画を策定する際には、計画策定段階における市民アンケートの実施、素案に対する市民意見公募（パブリックコメント）の実施等を通じて、多様な世代の市民の皆さまのご意見をいただき、計画策定に生かしているところです。

そのような中において、子育て支援センターのLINEを活用したアンケートとなりますと対象が絞り込まれすぎてしまい、市の子育て方針や転入増に繋げるような調査項目をお聞きするのは難しいと考えております。

現在、市民アンケートについては郵送によるものが一般的ですが、アンケート調査や情報発信を行う際には、デジタルデバイスやSNS等を活用していくことで、若い世代や子育て世代にも伝わりやすい、回答しやすいということも踏まえた手法を積極的に取り入れてまいり

たいと考えております。

(政策推進課 令和2年12月回答)